

計画事業番号	00891	事務事業名	子ども夢チャレンジ応援事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3602
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成28年度		個別計画等	北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章) にぎわい・活力のあるまち	
	(第 1 節) 地方創生の推進	
	(施策 3) 魅力的なまちの形成	
2 対象	市内在住の小学4年生から中学3年生	
3 目的と内容	子どもたちが将来の夢を叶えるために、今チャレンジしたいことをまち全体(市民・企業・団体・行政等)で支援する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジの募集(69件) ○チャレンジの決定(3件:バレエダンサーになりたい、プロゴルファーになりたい、パリストになりたい) ○チャレンジサポーターの募集 ○チャレンジの実施(バレエイタリア留学、沖縄での冬季ゴルフ練習、喫茶店での実地指導) ○報告会の実施
	29年度	昨年度と同様であるが、チャレンジの選考にあたっては、子どもたちが自分の言葉で夢や思いを述べる二次選考会(公開プレゼン)を開催し、より強い思いが伝わるチャレンジを選考する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
チャレンジの募集 チャレンジの決定、実現 報告会の実施	応募件数: 69件 決定件数: 3件 報告会の実施: 1回	チャレンジの選考 チャレンジ実現に向けた 支援 事業報告会	チャレンジの選考 チャレンジ実現に向けた 支援 事業報告会	チャレンジの選考 チャレンジ実現に向けた 支援 事業報告会

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	—	平成28年度からの新規事業	
1次評価	現状継続	総合戦略に基づく事業であり、子どもたちの夢へのチャレンジをまち全体で応援するものであり、次代を担う子どもたちへの支援として有効であり、継続して実施する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,201		1,654		1,655		1,655	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	600		820		820		820	
		一般財源	601		834		835		835	
	① 合計	1,201		1,654		1,655		1,655		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	2,520	0	2,520	0	2,520	0	2,520	0	
総事業費①+④			3,721		4,174		4,175		4,175	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①チャレンジ支援数	目標値 実績値	3 3	3	3	3
	②夢実現サポーター数	目標値 実績値	9 10	9	9	9
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値 実績値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	事業の実施にあたっては、行政だけではなく、市民・企業・団体などまち全体で応援するスキームとなっていること、また、次代を担う子どもたちに向けた取組として行政が関与することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	応募件数やチャレンジを応援するサポーター数など、概ね計画どおりとなっており、期待する成果は得られているものの、応募に若干の偏りが見られることから、今後、学校との連携を深め、児童生徒への周知を進めていく必要がある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	事業内容や成果を広く市民や企業等に周知することで、事業への理解を深め、更なる夢実現サポーターの掘り起しを進めていく必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	チャレンジに必要な経費が大部分であり、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--